

私が初めに意図したことは、運動という概念を外してシネマについて考えるということでした。アイデアを保存するため
の場所としての蓄積されたフィルム——むしろ特別なフィルム缶のようなもの。……〈マルセル・ブロータース「DはTより大きい」1967年〉
At the origin of my intentions, there was this idea of the cinema that dispenses with the notion of movement.
Film stock as a place for storing ideas—a rather special kind of can——.……〈Marcel Broodthaers, *D is bigger than T*, 1967〉

映画をめぐる美術

マルセル・ブロータースから始める



Reading Cinema, Finding Words: Art after Marcel Broodthaers

2013年9月7日(土)ー10月27日(日)

開館時間：午前9時30分ー午後5時

金曜日と9月7日(土)、10月26日(土)は午後8時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日：月曜日(ただし、祝日は開館)、翌火曜日は休館

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)
The National Museum of Modern Art, Kyoto

主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、京都新聞社

協賛：マサチューセッツ工科大学、株式会社、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、

株式会社、京都中央信用金庫、株式会社ワコール、ケルティン

観覧料：一般850(700)600(円)、大学生450(350)250(円)

※一回館前売り20名以上の団体料金の順 ※高校生をよる18歳未満、心身は障がいのある方も付添者

1名は無料(入館の際に証明できるものを提示ください) ※本料金でオンライン展もご覧いただけます

※お得な前売券は、7月12日から9月6日までの期間限定発売 ※前売券の主な発売場所は、チケットぴあ

(チケットぴあ)、「ローソンチケット」(ローソン)、「エディオン」(エディオン)、「ヤマダ電機」(ヤマダ電機) ※本展覧会は

は観覧に時間のかかる作品が含まれます ※券を自ら取りたい場合は、団体料金でご覧いただけます

※開館：京都国立近代美術館(岡崎公園内) 11:00-18:00 ※京都府左京区岡崎(岡崎公園内) 電話：075-821-1111

※お問い合わせ：(観覧券のみ) 075-821-1111 ※ホームページ：http://www.nmmak.go.jp

〒619-0292 京都府京都市伏見区岡崎(岡崎公園内) 電話：075-821-1111

Courtesy: Estate Marcel Broodthaers. Photo: Jonathan Honnay. Frits



24コマのイメージが1秒間のフィルムにある。ここには二つの主題がある。ひとつめの主題は、シネマの1秒間の時間を示している。・・・そしてもうひとつは、言葉とシネマという二つの言語のあいだの関係の意味、あるいは無意味さである。そして再び、静止画と動画の関係の意味あるいは無意味さである。……………〈マルセル・ブローターズ〈永遠の一秒(シャルル・ボードレールの考えに倣いて)〉についての記述より1970年〉
 24 images, the film of a second, a double subject. The first subject "represents" the time of a second of cinema. …… or again, there's the meaning or meaninglessness of the relation between two languages, that of words and that of cinema, or again, the relation between a static image and a moving image.…………… (Marcel Broodthaers, Description of the film *Une Seconde d'Éternité* (D'après une idée de Charles Baudelaire), 1970)

エリック・ボードレール マルセル・ブローターズ ドミニク・ゴンザレス=フォルステル アイザック・ジュリアン アンリ・サラ シンディ・シャーマン

Eric Baudelaire Marcel Broodthaers Dominique Gonzalez-Foerster Isaac Julien Anri Sala Cindy Sherman



ダヤニータ・シン 田中功起 アナ・トーフ やなぎみわ ミン・ウォン アクラム・ザタリ

Dayanita Singh Koki Tanaka Ana Torfs Miwa Yanagi Ming Wong Akram Zaatari

映画をめぐる美術

マルセル・ブローターズから始める
 Reading Cinema, Finding Words: Art after Marcel Broodthaers

私にとってフィルムとは言語の延長上にあるものです。私は詩の創作から出発しました。次に視覚芸術、そしてこうした幾つかの異なる芸術的要素をまとめることのできるシネマへと辿り着いたのです。著述=詩、オブジェ=視覚芸術、イメージ=フィルム、というように。難しいのは、当然のことながら、こうした要素の調和をはかることです。……………〈マルセル・ブローターズ、Trepied誌によるインタビューより 1968年〉
 For me, film is the extension of language. I begin with poetry, then visual art, and finally cinema which brings together several different elements of art. Which is to say: writing (poetry), the object (visual art), and the image (film). The difficult thing, of course, is the harmony between these elements.…………… (Marcel Broodthaers, Interview by the magazine *Trepied*, 1968)



① エリック・ボードレール (重信房子、メイ、足立正生のアナバシス、そして映像のない27年間) 2011年 Courtesy of Kadist Art Foundation © the artist ② マルセル・ブローターズ《カラスと狐》1967年 Courtesy of Estate Marcel Broodthaers, Brussels and Marian Goodman Gallery, New York Photo: Ellen Page Wilson ③ ドミニク・ゴンザレス=フォルステル《2058(図書目録)》2012年 Photography: Andrea Rossetti Courtesy of the artist, Esther Schipper, Berlin and Corvi-Mora, London ④ アイザック・ジュリアン《「クレオールの亡霊」シリーズより バビヨン no.2》2005年 Courtesy the Artist and Victoria Miro, London © Isaac Julien ⑤ アンリ・サラ (インテルヴィスタ) 1998年 © Anri Sala ⑥ シンディ・シャーマン (Untitled Film Still #33) 1979年 東京都写真美術館蔵 © the artist ⑦ ダヤニータ・シン《ファイル・ルーム》2013年 © the artist ⑧ 田中功起 (a poem written by 5 poets at once (first attempt)) 2012年 Commissioned by The Japan Foundation for the occasion of the show "abstract speaking - sharing uncertainty and collective acts," at The Japan Pavilion at the 55th International Art Exhibition - la Biennale di Venezia, 2013 © the artist ⑨ アナ・トーフ (乾杯) 2003年 © photo: Ana Torfs ⑩ やなぎみわ (GLORIA & LEON) 2004年 © Miwa Yanagi ⑪ ミン・ウォン (Filem-Filem-Filem) 2008年 Courtesy of the Vitamine Creative Space, Guangzhou, China ⑫ アクラム・ザタリ (Tomorrow Everything Will Be Alright) 2010年 Courtesy of Thomas Dane Gallery, London

詩人として出発したベルギー出身の芸術家マルセル・ブローターズ(1924-1976)は、1964年頃から美術の領域に身を置き、言語とイメージの関係を扱ったオブジェや写真・短編映画の制作、また公開書簡や出版などの著述活動、さらに美術を取り巻く権威や制度を批判的に検証する虚構性に満ちたプロジェクトなど幅広い創作活動を展開し、戦後美術の転換期に大きな足跡を残しました。

仮面を付けたブローターズが手にしている書物『映画の発明 1832-1897』(ジョルジュ・サドゥール著、1946/表面写真)が示すように、ブローターズにとって映画は重要な表現方法のひとつであり考察対象でした。特にブローターズが映画を「書く」ための方法として位置づけたことは、これまで「見る」ことへ主に意識を傾けてきた映像表現に対して「読む」という視点を改めて強調した、と言えるでしょう。時にユーモアを交えながら言語とイメージの関係を根源的に問うブローターズの実践は、後進の世代の美術家たちに大きな影響を与えて続けており、特に写真やビデオ、インスタレーションの手法を用いた表現が急増した1990年代以降の美術動向を理解する上でも、有効な手がかりとなるように思えます。

主に1990年代後半以降、映像表現を手がける美術家たちに見出せるひとつの傾向として、映画の技術や理論、歴史に高い関心を持ち、過去の映画作品をさまざまな形で参照・解読するという創作手法が挙げられます。こうした傾向を視野に入れつつ、今回の展覧会では、ブローターズによる映画に関するテキストやプロジェクトを参照軸とし、そこから引き出される5つのテーマ—「Still / Moving」「音声と字幕」「アーカイブ」「参照・引用」「映画のある場」—に即して、国際的に活躍する美術家12名のフィルム、写真、ビデオ、インスタレーション等の作品により、映画をめぐる美術家の多様な実践を紹介します。

【関連イベント】

連続アーティスト・トーク
 ドミニク・ゴンザレス=フォルステル、ダヤニータ・シン、田中功起、アナ・トーフ(出品作家)
 9月7日(土) 午後2時より
 ※先着70名(当日午後1時から1階インフォメーションにて整理券を配布します)
 ※聴講無料(要観覧券)、逐次通訳あり

金曜夜の上映プログラム
 9月13日(金) 午後7時より……特集: 田中功起 (a piano played by 5 pianists at once (first attempt)) (2012)
 9月27日(金) 午後7時より……特集: ドミニク・ゴンザレス=フォルステル (De Novo) (2009)ほか
 10月11日(金) 午後7時より……特集: ミン・ウォン (Angst Essen / Eat Fear) (2008)ほか
 当館1階講堂にて、要観覧券 ※詳細はホームページにてお知らせします

NFC所蔵作品選集 MoMAK Films 2013
 ●10月26日(土) 午後2時より
 「裁かるるジャンヌ」(1928年、監督:カール・Th.ドライヤー)
 「チャップリンの舞台裏」(1916年、監督:チャーリー・チャップリン)
 「チャップリンの替え玉」(1916年、監督:チャーリー・チャップリン)
 「キートンの探偵学入門」(1924年、監督:バスター・キートン)
 ●10月27日(日) 午後2時より
 「レベッカ」(1940年、監督:アルフレッド・ヒッチコック)
 「夜」(1960年、監督:ミケランジェロ・アントニオーニ)
 当館1階講堂にて、全作品35mm、日本語字幕、1プログラム500円
 主催=京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター
 ※詳細はホームページをご覧ください

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 オープンリサーチプログラム「パフォーマンス」(予定)
 ドミニク・ゴンザレス=フォルステル「M.2062」
 2013年9月6日(金) 午後7時~午後8時
 会場=京都府京都文化博物館 別館ホール 入場料=無料(申込不要)
 主催=京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
 後援=国際交流基金 協力=京都国立近代美術館
 ※詳細はwww.parasophia.jpにてお知らせします

京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto

【お問合せ】: 京都国立近代美術館(岡崎公園内)
 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話: 075-761-4111
 テレホンサービス(展覧会のご案内): 075-761-9900
 ホームページ: <http://www.momak.go.jp>

